

ふるさとづくり賞

内閣総理大臣賞に

集団の部・徳島・アドプト・ア・ハイウェイ神山会議

市町村の部・和歌山・南部川村

企業の部・熊本・トヨタカラー熊本株式会社

平成12年度豊かなふるさとづくり全国フォーラムで授賞式





全国各地で個性豊かなふるさとづくりに取り組み、今年度のふるさとづくり賞に応募して入賞した集団、市町村、企業を表彰する「平成二二年度豊かなふるさとづくり全国フォーラム」が去る二月二日、山口市のホテルニュータナカで開かれた。

内閣総理大臣賞は、集団の部では、道路や公園、河川、海岸などを地域住民が養子（アドプト）にし、その維持管理を行う環境改善活動を全国に先駆けて取り入れた、徳島県神山町のアドプト・ア・ハイウェイ神山会議が、市町村の部では、文化、スポーツをはじめ生活全般にわたる諸活動を行政と住民が一体になり、生涯学習でまちづくりを推進した和歌山県の南部川村が、そして今回新たに設けられた企業の部では、ボランティア活動を会社の基本方針に取り入れ、清掃活動や入社式献血活動、児童福祉施設訪問など、昭和四八年からの活動が評価されたトヨタカローラ熊本株式会社それぞれ受賞した。

この豊かなふるさとづくり全国フォーラムは、高齢化、国際化、少子化などの社会状況の変化に伴って派生する多様な地域に密着した課題に取り組み、日頃から努力している住民集団と、住民とともに活力ある地域社会づくりに取り組む市町村及び企業を顕彰するもので、全国から約二五〇人が参加し、会場は久しぶりの再会に手を取ってあいさつを交わす笑顔や晴の舞台上に緊張した人たちが埋まった。

表彰式に先立って加田純一当協会副会長が主



宮崎公之
教授



催者あいさつを、来賓あいさつは、内閣官房長官代理の坂東真理子内閣総理大臣官房管理室長、大泉博子山口県副知事、左内正治山口市長がそれぞれあいさつし、続く表彰式では、内閣総理大臣賞と内閣官房長官賞を坂東室長が、主催者賞は加田副会長が授与した。

全国フォーラムでは、佐藤中央審査委員長から今回の受賞について講評があり、特に今回新たに設けた企業の部については、活動単位や活動内容についての表彰基準の方向性を今後明確にしておく必要があるとの講評があった。続いて受賞した集団の活動がスライドで紹介され、午後からのシンポジウム「二一世紀の地域社会づくりとパートナーシップ」住民、行政、企業の新たな連携を求めて」では、地方分権時代を迎え、地域づくり、ふるさとづくりを進めていくうえで、住民、行政、企業が互いにどのような役割をもち、協力関係を創っていったらよいか、互いの立場から熱心な討議が行われた。また、夕方からは、交流会が開かれ、手塚康夫当協会理事長をはじめ挨拶があり、各地から集まった参加者の交流で、和やかなひとときを過ごした。

翌日は、「地域計画・ビジョンをいかににつくり、実現していくか」など、五分科会でのふるさとづくりネットワーク交流会議が行われ、活発な討議が繰り広げられた。

今年度の表彰団体は、次のとおり。



平成12年度豊かなふるさとづくり全国フォー

主催 財団法人あしたの日本を創る協会 読売新聞社 各都道府県新生活運動等協議会 山口県生活学校連盟
 後援 財団法人文部省 読売新聞社 自治会 全国知事会 全国市長会 全国町村会 山口県 山口市 NHK 日本商工
 全国農工商連合会 社団法人日本青年会議所 山口新聞社 山口放送



〈内閣総理大臣賞〉

・集團の部
 徳島・神山町

アドプト・ア・ハイウェイ神山会議

・市町村の部

和歌山・南部川村

・企業の部

熊本・熊本市 トヨタカローラ熊本株式会社

〈内閣官房長官賞〉

・集團の部

高知・大方町 砂浜美術館

・市町村の部

新潟・赤泊村

・企業の部

和歌山・すさみ町 株式会社ノアすさみ

〈主催者賞〉

・集團の部

神奈川・市民ネットワーク・相模川

三重・津市 特定非営利活動法人阿漕浦友の会

和歌山・中津村 なかつ村移住者推進協議会

・市町村の部

高知・高知市

・企業の部

京都・京都市 西新道錦会商店街振興組合

※平成一三年度の「ふるさとづくり賞」の応募要領は、FAX等でお問い合わせください。また、豊かなふるさとづくり全国フォーラムは一月一七日、一八日に千葉市幕張プリンスホテルを会場に開催する予定です。